

世界に 3.11 を伝えるシンポジウム (2014. 2.21-22)

阪神淡路・東日本大震災で設立された「人と防災未来センター」(神戸市)・東北大学「災害科学国際研究所」が中心になって、市民・学生の活動を世界に伝えるためのシンポジウムが東北大学で行われました(参加者約 60 名)。仙台、神戸・関西、東京の大学、放送・メディア、NPO 団体と共に GOZAIN が、活動の紹介と討論に参加しました。翌日は被災地を巡る、「もう一度見てみよう 3.11 ツアー」にも参加しました。「避難所」「被災者」「見守り」などの英訳に腐心している皆さんの悩みを共有しました。



GOZAIN の活動を事例でもって郡司が紹介、今野が通訳。特に諸外国からの被災地視察者の案内事例を紹介。



留学生が被災者の生の声を丹念に収録し続けている。ブログ「東北からの声」で発信、英訳もする。



東北大留学生と共に、災害を伝える言葉の課題を紹介



パネルディスカッションで GOZAIN 郡司が説明



名取川畔で東北大学佐藤助教が津波被害と東部道路を説明



「閑上の記憶」で語り部から災害体験を聞き、映像を見る